

議事概要記録

開催日時	令和2年12月12日(土) 15:00~17:00	開催場所	アバローム紀ノ国 4階羽衣の間 Web開催併設
会議種別	令和2年度 第5回理事会	議長	田原 靖子
		書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	会場参加：田中 規仁、田原 靖子、栗林 伴有、丸澤 佳子、久保 光史、 山本 須美子、中尾 光孝、谷本 智、菌田 豊、葛原 和紀、秋田 豊和、 脇村 小津江 Web参加：神藤 洋次、森下 陽子、大前 嘉良、森井 眞治、大石 博晃、 竹中 正人 <p style="text-align: right;">計 18 名</p>		
欠席者 <敬称略>		オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 第5回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ 会誌編集 ⑥ ホームページ ⑦ 会報 ⑧ 月例行事予定表 7. 連盟 8. 第41回和歌山県医学検査学会 9. その他 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策委員会 災害対策マニュアル改訂について ・研修会、会議等のWeb開催について ・その他 		

開催にあたり田中会長より挨拶。

冒頭、11月2日に亡くなられた田中久晴元理事への追悼を込めて、1分間黙祷を捧げた。

報告事項

1. 会長報告

日臨技・近畿支部・和臨技関連について以下のとおり報告あり。

日臨技・近畿支部関連

9月3日 日臨技理事会 幕張メッセ

9月3日 第69回医学検査学会 幕張メッセ

12月4日 日臨技理事会事前レク（近畿支部幹事会）（Web）

12月5日 日臨技理事会 日臨技会館(Web)

和臨技関連

10月24日 病院協会70周年記念式典 アバローム紀の国

11月12日 令和2年度保健衛生功労者知事感謝状 アバローム紀の国
田中会長受賞、贈呈式には神藤副会長列席

11月15日 第18回和歌山県病院大会

第25回和歌山県病院協会学術大会 アバローム紀の国

決議事項
及び
継続事項

・竹中監事より、会長受賞の保健衛生功労者知事感謝状に関して今回理事会報告がなかった。他の受賞等も含め理事会への報告があつてしかるべきであることをご指摘頂く。事務局通知が漏れていたことを謝罪。以後同じことのないよう対応する旨を報告。

2. 第5回常務理事会報告

●タスクシフティングに係る講習会について

田中会長より資料を基にタスクシフティングに係る講習会について説明

2つの事業運営が必要となる。

(ア) 理事向け都道府県研修会の開催

日臨技 Web セミナー受講後タスクシフティング推進等の方策を議論

(イ) 会員向け啓発事業の開催

以上の運営について、担当理事推薦と公益事業として運営する旨の審議事項を報告。

●臨地実習指導者講習会について

田中会長より臨地実習指導者講習会について説明

2023年度末までに全国で1,200名以上の臨地実習指導者を育成する。

運営方法としては理事1名が代表で研修を受けて伝達講習形式での地区開催を目指す。（従来の検査説明研修会やベッドサイド実践研修会のような形式）

実際県内で実習を受け入れている施設（受け入れを検討している施設も含む）対象となり、指導者の勤務体制（定年や転職など）も踏まえ各施設 2～3 名の参加を予測して開催する予定。

以上の運営について、担当理事と公益事業として運営する旨の審議事項を報告。

●臨床検査技師賠償責任保険の補償内容に関する報告（別紙資料参照）

上記保険に関して、退会後の補償に関して訂正。

訂正内容

この法人に 5 年以上在籍し、保険期間（毎年 6 月 1 日 16：00～翌 6 月 1 日 16：00）内に、医療事故が発生し、当該保険期間内に廃業した場合は、退会して月以降の 6 月 1 日 16：00 を保険期間終了とし、その 5 年を経過する前までに発見された在籍中の事故については、補償の対象とする。

秋田理事より廃業のとは？と質問あり、田中会長より廃業とは「臨床検査技師の名称を用いて臨床検査技師法等に関する法律に規定する業務を今後一切行わないこととした時」と説明。

3. 事務局報告

7月2日 令和2年度和臨技精度管理後援名義 和歌山県病院協会

8月6日 令和2年度和臨技精度管理後援名義 和歌山県

9月23日 令和2年保健衛生功労者知事感謝状候補者への通知 和歌山県

9月23日 令和2年度医療従事者功労者賞候補者の推薦依頼について 和歌山県

9月23日 和歌山県病院協会創立70周年記念式典案内 和歌山県病院協会

10月13日 わかやま移植医療推進協会 コーディネーター募集

わかやま移植医療推進協会

10月15日 第18回和歌山県病院大会参加案内 和歌山県病院協会

11月29日 新型コロナウイルス感染症に係る感染防止対策の徹底について

和歌山県

12月7日 令和2年度院内感染対策講習会について和歌山県

12月8日 タスクシフティング等医療勤務改環境改善推進事業の協力依頼について

日臨技

以上について報告。

4. 学術部報告

現状、Web 研修準備委員会の進捗を踏まえた上で次年度の開催を目指したいが問題点として、生涯教育登録ならびに参加費徴収方法があり、生涯教育登録運用に関して審議すると報告があった。

勉強会テーマについては資料の通りと報告があった。

輸血班のテーマに関して、第1回血液型の基礎、第2回クロスマッチの基礎へ変更の予定と報告があった。

5. 経理部報告

特記事項なし

6. 各種委員会報告

① 公益事業活動

田中会長より次年度以降の検査展開催方法について検討が必要ではとの提案あり（従来の対面式での開催が会場も含め現状困難である）。大臨技はWeb開催を予定している。他県の開催内容も参考にして新しい様式での開催について秋田理事に検討頂く。

② 定款・渉外

特記事項なし

③ 災害対策委員会

大前理事より第1回災害対策委員会（Web形式）の開催ならびに災害対策マニュアルの改訂着手について報告あり。県内施設災害時連絡網について再調査中、勉強会の次回プランについても委員会にて検討中である。災害対策マニュアル改訂箇所については審議頂きたい。

（詳細は議事録及び資料参照）

④ 精度管理

中尾理事より、本年度事業ならびに次年度事業についての進捗報告あり。本年度踏査に関する調査願いについては血液2施設、生化学10施設に対して発行、すべて回収済み。1月中旬を目途に報告書作成を予定している。また報告書の査読について審議頂きたい。

次年度事業に関してJAMTQCシステム構築を4月完了で目指している。

（詳細は資料参照）

⑤ 会誌編集

森井理事より、現在論文6題が集まり、会員活動調査中、賛助会員メーカー17社が集まっている旨について報告あり。

⑥ ホームページ

特記事項なし

⑦ 会報

田中会長より年度内に1冊は発行進めるよう谷本理事へ指示あり。内容として本年度採用の各施設の新人者、および表彰者などに記事投稿をお願いしてはどうかとの意見あり。

⑧ 月例行事予定表

特記事項なし

7. 連盟

脇村連盟支部長より支部会議報告。(別紙資料参照)

以下、日臨技医療情報セミナーの開催について報告あり。

開催期間：令和3年1月から

企画内容：「医療情勢と臨床検査技師の教育改定並びに業務拡大について」60分

演者 宮島喜文会長(参議院議員)

開催場所：各都道府県技師会の会場 各県3か所ほどを予定

参加人数：10から20名以上 密にならないように配慮

開催日時：原則 土曜、日曜訪問の予定

8. 第41回和歌山県医学検査学会

秋田理事(学会長)より報告。

本年度の開催については新型コロナウイルス感染流行で中止となっているが、次年度の開催に向けての課題として、従来型の開催方法でなくWeb開催や日臨技学会のようなハイブリッド開催を目指すのか、受け入れていただく会場施設も選定する必要がある旨が報告された。

Web研修準備委員会の検討内容および他県の開催方法なども参考にしながら引き続き検討頂く。

9. その他

●70周年記念式典について

和歌山県臨床検査技師会 70周年記念式典を次年度開催予定

開催に向けて準備委員会を立ち上げることを報告。

責任者は田中会長、神藤副会長。

その他市内地区施設より委員を選出して対応の予定。

会長より、できれば今後を担う世代に委員をお願いしたいとの意向あり。

各理事へも協力を願う。

●近畿支部医学検査学会について

田中会長より開催県に関して報告あり。

2021年(令和3年) 福井県

2022年(令和4年) 兵庫県

2023年(令和5年) 和歌山県

次年度より検討を始め、準備委員会の立ち上げを図る。

会場候補についても随時検討し必要分は予約準備開始。

各理事へも協力を願う。

●新しい日臨技施設認証制度について

改正法をいかした新しい施設認証制度について田中会長・久保より報告。

名称変更 日臨技施設認証制度 → 日臨技品質保証施設認証制度

新制度開始 2021年4月より

部門項目の拡充 現) 血液・生化学のみ → 新) 全10部門

(別紙資料参照)

審議事項

●災害対策委員会 災害対策マニュアル改訂について

大前理事より

- ・災害対策に関する情報収集方法について従来のExcelシートからgoogleスプレッドシートへの変更で了承
- ・災害訓練開催に関するマニュアル表記については、情報収集訓練は年1回、その他の訓練については適宜開催などの表現で明記することです承
- ・災害対策マニュアルの変更

概ね委員会提示内容です承。

他県の災害などへの人材派遣に関する記載については具体的な明示は避け、必要時に検討する旨を掲載することで一致。

引き続き修正版を作成頂き共有。

●Web研修準備委員会より研修会、会議等のWeb開催について

中尾理事より

- ・参加費の徴収及び日臨技生涯教育登録に関する運用方法について具体的な運用方法について検討頂きたい

参加費について → Web勉強会に関して無償化するのも1案か？

生涯教育登録 → 従来は参加時に会員番号を集約、各班で登録を行っていた。

案①事前申し込み制にして会員番号集約、従来通り各班で登録

案②勉強会終了後、登録番号を参加者に配布して会員個人で登録

等

一長一短ありで審議結果に至らず。継続審議

他府県の開催運用も調査して検討することで一致。会長からも近畿圏内の運用情報を調査頂く。

- ・Web研修用アプリケーション検討について

委員会よりも第1候補はZoomである。Zoomに決定するにしても問題は参加人数・契約可能IDによって費用が異なる。(100人、300人、500人など)

和歌山学会なども踏まえて検討が必要となるか。継続審議。

- ・WiFi環境の確保

モバイルWiFi Yモバイルのレンタルなどを調査している。

Yマックス3年契約 15万程度。

→契約方法、金額についても引き続き調査継続

●精度管理事業について

中尾理事より

- ・本年度精度管理報告書の査読について

本年度は精度管理報告会を開催せず、報告書の発行をもって本事業を完了とする予定であるため、報告書については、各理事に査読いただき、理事会承認をもって発行する事としたい。

→理事査読にて承認。

・次年度事業 精度管理試料の集約ならびに梱包について
 今回コロナ渦中において、和医大中央検査部検体検査フロアをお借りし、3名で梱包作業を実施したが、次年度もコロナ禍が継続していると想定した試料準備、梱包会場確保、配送手配が必要と考える。現行の運用では各班サーベイ担当者が試料手配を実施し、梱包当日に梱包会場（和医大）に持参。梱包作業を実施するという運用になっているが、コロナ禍においては施設部外者の入室制限があり、現行運用を継続する事が困難であると考え。よって以下の運用変更を提案する。

①梱包会場の確保

②試料の集約化と人員の確保

③配送手配

（詳細理事会資料参照）

→以上について承認。会長からも和歌山医大中村技師長へ直接連絡を頂く事で一致。

・次年度事業 精度管理事業会計管理について

精度管理事業の予算管理を従来の学術部 副学術部長の業務管轄下から担当理事管理へ変更

→以上について承認。

・その他

●次年度和臨技会費徴収について

田中会長より

・本年度新型コロナウイルス感染流行に伴い、和臨技事業が完全に停止した。この状況より本年度事業での予算は概ね手付かずでそのままの状況である。

これらを踏まえ次年度の和臨技会費徴収を無料化などで会員への還元をしてはとの意見も上がっている。理事の意見はいかがでしょうか。

→会費無料化する必要はないのでは、例年通り徴収してより良い企画運営をすれば良いのではとの意見あり。

→現在検討している Web 勉強会に関して次年度 1 年間期限付きで参加費を無料化してはどうかとの意見もあり。

→Web 研修への備品準備費用や今まで各病院施設を無料で借りていたが現状は有料会議室を準備する必要がありその分の費用なども予想されるのではとの意見あり。

最終次年度の会費については例年通りの金額で徴収することで一致。

Web 勉強会の参加費無料については継続審議となる。

●タスクシフティングに係る講習会について

担当理事として森下理事を推薦。快諾頂く。

●臨地実習指導者講習会について

担当理事として葛原理事を推薦。快諾頂く。

記録作成	令和 2 年 12 月 27 日	氏名	久保 光史	提出	令和 2 年 12 月 27 日
------	------------------	----	-------	----	------------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可